

# 定期作況報告（最終）

（第7号 平成29年11月20日現在）  
地方独立行政法人北海道立総合研究機構  
農業研究本部 上川農業試験場

## 1. 気象概況

《平成28年》

11月：平均気温は3.7℃低く、降水量は平年の141%、日照時間は平年の57%であった。  
12月：平均気温は0.6℃低く、降水量は平年の76%、日照時間は平年の85%であった。

《平成29年》

1月：平均気温は0.8℃低く、降水量は平年の45%、日照時間は平年の124%であった。  
2月：平均気温は0.9℃高く、降水量は平年の86%、日照時間は平年の63%であった。  
3月：平均気温は0.1℃低く、降水量は平年の49%、日照時間は平年の120%であった。  
4月：平均気温は0.8℃高く、降水量は平年の79%、日照時間は平年の100%であった。  
5月：平均気温は1.4℃高く、降水量は平年の104%、日照時間は平年の112%であった。  
6月：平均気温は2.1℃低く、降水量は平年の108%、日照時間は平年の92%であった。  
7月：平均気温は1.4℃高く、降水量は平年の63%、日照時間は平年の104%であった。  
8月：平均気温は1.6℃低く、降水量は平年の63%、日照時間は平年の95%であった。  
9月：平均気温は1.8℃低く、降水量は平年の103%、日照時間は平年の110%であった。  
10月：平均気温は0.8℃低く、降水量は平年の88%、日照時間は平年の104%であった。

本年の根雪終は4月8日で平年より3日早く、積雪期間は平年より21日長かった。耕鋤始（融雪剤散布圃場）は4月16日で平年より4日早かった。晩霜は5月3日で平年より11日早かった（表1）。平成28年11月から平成29年10月までの気象は表2のとおりである。

以上、農耕期間の4～10月についてまとめると、平均気温は平年に比べて4月が0.8℃、5月と7月が1.4℃それぞれ高かったが、それ以外は0.8～2.1℃低く、6月が平年に比べて最も低かった。降水量は、6月が平年の108%と最も多く、次いで5月、9月がそれぞれ平年の104%、103%と多かった。それ以外は平年に比べて少なく、7月と8月が平年の63%と最も少なかった。日照時間は5月が平年の112%と最も多く、次いで9月、7月と10月がそれぞれ平年の110%、104%と多かった。それ以外は同等か少なく、6月は平年の92%と最も少なかった。5月から9月までの積算値は、平年に比べ平均気温が75℃低く、降水量は平年より105mm少なく、日照時間は20時間多かった（表3）。

表1 季節表

	初霜 (前年)	降雪始 (前年)	根雪始 (前年)	根雪終 (月日)	積雪期間 (日)	降雪終 (月日)	耕鋤始 (月日)	晩霜 (月日)	初霜 (月日)	降雪始 (月日)
本年	10月5日	10月20日	10月31日	4月8日	160	4月23日	4月16日	5月3日	10月18日	10月17日
平年	10月8日	10月24日	11月24日	4月11日	139	4月28日	4月20日	5月14日	10月8日	10月23日
比較	△ 3	△ 4	△ 24	△ 3	21	△ 5	△ 4	△ 11	10	△ 6

- 注 1) 本年は平28～29年の値。  
2) 根雪始、根雪終、積雪期間、耕鋤始は比布圃場の観測値。平年は過去10か年の平均値。  
3) 初霜、降雪始、降雪終、晩霜は旭川地方気象台による旭川市の観測値。  
平年は過去10か年の平均値。  
4) △印は平年に比べて早いあるいは短いを示す。

表2 気象表

年 月 旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)				降水日数 (日)			日照時間 (hr)			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)	本年	平年	比較	本年	平年	比較	(%)
2016 上	-1.0	5.2	▲ 6.2	1.5	10.0	▲ 8.5	-3.6	0.9	▲ 4.5	60.5	36.7	23.8	165	8	6	3	6.1	28.3	▲ 22.2	22
11 中	0.4	1.6	▲ 1.2	4.3	5.4	▲ 1.1	-3.6	-2.0	▲ 1.6	47.5	27.5	20.0	173	7	6	1	19.3	21.2	▲ 1.9	91
下	-4.5	-0.9	▲ 3.6	-1.5	2.4	▲ 3.9	-8.5	-4.6	▲ 3.9	31.5	35.0	▲ 3.5	90	8	7	2	13.0	17.9	▲ 4.9	73
平均・合計	-1.7	2.0	▲ 3.7	1.4	5.9	▲ 4.5	-5.2	-1.9	▲ 3.3	139.5	99.2	40.3	141	23	18	5	38.4	67.4	▲ 29.0	57
2017 上	-2.6	-3.0	0.4	1.1	0.1	1.0	-6.8	-6.9	0.1	26.0	32.8	▲ 6.8	79	7	7	0	7.7	16.5	▲ 8.8	47
12 中	-7.1	-4.6	▲ 2.5	-2.7	-1.3	▲ 1.4	-12.7	-9.1	▲ 3.6	5.0	21.4	▲ 16.4	23	5	7	▲ 2	22.8	17.4	5.4	131
下	-5.7	-6.0	0.3	-2.6	-2.4	▲ 0.2	-9.8	-10.7	0.9	26.5	21.7	4.8	122	8	8	0	15.1	19.9	▲ 4.8	76
平均・合計	-5.1	-4.5	▲ 0.6	-1.4	-1.2	▲ 0.2	-9.8	-8.9	▲ 0.9	57.5	75.9	▲ 18.4	76	20	21	▲ 1	45.6	53.8	▲ 8.2	85
2017 上	-6.8	-6.9	0.1	-2.7	-3.5	0.8	-11.9	-11.8	▲ 0.1	2.0	19.9	▲ 17.9	10	2	6	▲ 4	26.4	15.4	11.0	171
1 中	-9.7	-9.2	▲ 0.5	-5.8	-5.4	▲ 0.4	-14.3	-14.2	▲ 0.1	9.0	17.5	▲ 8.5	51	4	6	▲ 2	26.8	21.8	5.0	123
下	-9.8	-7.9	▲ 1.9	-5.0	-3.7	▲ 1.3	-15.6	-13.5	▲ 2.1	12.5	15.1	▲ 2.6	83	5	6	▲ 1	30.9	30.4	0.5	102
平均・合計	-8.8	-8.0	▲ 0.8	-4.5	-4.2	▲ 0.3	-13.9	-13.2	▲ 0.8	23.5	52.5	▲ 29.0	45	11	18	▲ 7	84.1	67.6	16.5	124
2 上	-7.9	-8.4	0.5	-3.4	-3.6	0.2	-13.9	-14.5	0.6	3.5	11.7	▲ 8.2	30	5	5	▲ 0	25.0	32.4	▲ 7.4	77
中	-4.0	-6.8	2.8	-0.4	-2.3	1.9	-8.3	-12.5	4.2	12.0	16.3	▲ 4.3	74	3	5	▲ 2	16.6	34.8	▲ 18.2	48
下	-6.3	-5.7	▲ 0.6	-1.9	-0.7	▲ 1.2	-13.3	-12.0	▲ 1.3	18.0	11.1	6.9	162	4	4	▲ 0	21.6	33.8	▲ 12.2	64
平均・合計	-6.1	-7.0	0.9	-1.9	-2.2	0.3	-11.8	-13.0	1.2	33.5	39.1	▲ 5.6	86	12	15	▲ 3	63.2	101.0	▲ 37.8	63
3 上	-2.9	-4.3	1.4	0.9	0.4	0.5	-7.5	-10.1	2.6	9.0	12.5	▲ 3.5	72	6	5	1	33.2	43.6	▲ 10.4	76
中	-3.1	-1.8	▲ 1.3	3.3	2.7	0.6	-10.4	-7.0	▲ 3.4	3.5	18.3	▲ 14.8	19	1	5	▲ 4	84.8	40.0	44.8	212
下	-0.9	-0.4	▲ 0.5	4.3	4.6	▲ 0.3	-6.1	-5.7	▲ 0.4	7.5	10.0	▲ 2.5	75	4	5	▲ 1	55.0	60.9	▲ 5.9	90
平均・合計	-2.3	-2.2	▲ 0.1	2.8	2.6	0.3	-8.0	-7.6	▲ 0.4	20.0	40.8	▲ 20.8	49	11	15	▲ 4	173.0	144.5	28.5	120
4 上	3.9	2.2	1.7	9.5	7.3	2.2	-2.6	-3.2	0.6	4.0	20.8	▲ 16.8	19	3	5	▲ 2	71.2	56.0	15.2	127
中	5.5	4.0	1.5	10.4	9.6	0.8	-0.2	-1.2	1.0	16.0	16.5	▲ 0.5	97	4	4	0	40.1	57.6	▲ 17.5	70
下	6.9	7.6	▲ 0.7	13.0	14.0	▲ 1.0	1.0	1.4	▲ 0.4	20.5	13.7	6.8	150	5	3	2	61.1	59.6	1.5	103
平均・合計	5.4	4.6	0.8	11.0	10.3	0.7	-0.6	-1.0	0.4	40.5	51.0	▲ 10.5	79	12	12	0	172.4	173.2	▲ 0.8	100
5 上	10.9	10.4	0.5	18.1	16.9	1.2	3.0	4.2	▲ 1.2	8.5	21.7	▲ 13.2	39	3	5	▲ 2	71.1	55.6	15.5	128
中	13.1	10.8	2.3	19.7	17.1	2.6	7.5	5.2	2.3	23.5	19.2	4.3	122	5	4	1	76.9	54.6	22.3	141
下	15.3	13.8	1.5	21.0	20.5	0.5	10.7	7.6	3.1	28.5	17.0	11.5	168	6	3	3	62.6	77.9	▲ 15.3	80
平均・合計	13.1	11.7	1.4	19.6	18.2	1.4	7.1	5.7	1.4	60.5	57.9	2.6	104	14	13	2	210.6	188.1	22.5	112
6 上	12.9	16.2	▲ 3.3	18.8	22.7	▲ 3.9	8.1	10.5	▲ 2.4	25.5	15.9	9.6	160	5	3	2	43.0	62.1	▲ 19.1	69
中	15.6	17.3	▲ 1.7	21.8	22.9	▲ 1.1	9.8	12.8	▲ 3.0	11.5	34.8	▲ 23.3	33	4	5	▲ 1	87.2	50.2	37.0	174
下	17.0	18.2	▲ 1.2	21.4	24.5	▲ 3.1	12.8	12.8	0.0	42.5	23.1	19.4	184	5	3	2	33.3	66.2	▲ 32.9	50
平均・合計	15.2	17.2	▲ 2.1	20.7	23.4	▲ 2.7	10.2	12.0	▲ 1.8	79.5	73.8	5.7	108	14	11	3	163.5	178.5	▲ 15.0	92
7 上	21.9	20.4	1.5	27.8	26.0	1.8	16.9	15.7	1.2	17.5	35.2	▲ 17.7	50	4	3	1	59.2	58.3	0.9	102
中	22.7	19.8	2.9	27.6	25.5	2.1	18.0	15.4	2.6	28.5	41.4	▲ 12.9	69	5	4	1	56.4	61.2	▲ 4.8	92
下	21.7	21.8	▲ 0.1	27.0	27.5	▲ 0.5	16.7	17.3	▲ 0.6	45.0	69.0	▲ 24.0	65	4	5	▲ 1	68.7	57.6	11.1	119
平均・合計	22.1	20.7	1.4	27.5	26.3	1.1	17.2	16.1	1.1	91.0	145.6	▲ 54.6	63	13	11	2	184.3	177.1	7.2	104
8 上	21.2	22.5	▲ 1.3	27.2	28.1	▲ 0.9	17.1	17.9	▲ 0.8	1.5	50.2	▲ 48.7	3	1	4	▲ 3	70.8	58.3	12.5	121
中	19.2	21.7	▲ 2.5	23.9	27.0	▲ 3.1	15.5	17.4	▲ 1.9	39.5	83.0	▲ 43.5	48	6	5	1	37.7	47.3	▲ 9.6	80
下	19.1	20.0	▲ 0.9	23.9	25.7	▲ 1.8	15.2	15.1	0.1	65.0	36.0	29.0	181	8	4	4	48.7	60.2	▲ 11.5	81
平均・合計	19.8	21.4	▲ 1.6	25.0	26.9	▲ 1.9	15.9	16.8	▲ 0.9	106.0	169.2	▲ 63.2	63	15	13	2	157.2	165.8	▲ 8.6	95
9 上	16.5	19.2	▲ 2.7	23.1	24.7	▲ 1.6	11.2	14.7	▲ 3.5	19.5	74.5	▲ 55.0	26	4	6	▲ 2	71.1	47.0	24.1	151
中	14.6	16.7	▲ 2.1	19.7	22.6	▲ 2.9	10.2	11.9	▲ 1.7	93.5	40.6	52.9	230	6	4	2	33.6	47.4	▲ 13.8	71
下	13.1	13.6	▲ 0.5	19.6	19.8	▲ 0.2	6.9	8.2	▲ 1.3	46.0	39.6	6.4	116	8	5	4	54.6	50.9	3.7	107
平均・合計	14.7	16.5	▲ 1.8	20.8	22.4	▲ 1.6	9.4	11.6	▲ 2.2	159.0	154.7	4.3	103	18	14	4	159.3	145.3	14.0	110
10 上	11.9	11.1	0.8	16.6	16.9	▲ 0.3	7.0	6.0	1.0	17.0	38.1	▲ 21.1	45	5	6	▲ 1	34.8	45.7	▲ 10.9	76
中	5.6	8.8	▲ 3.2	10.4	14.5	▲ 4.1	1.8	3.8	▲ 2.0	30.5	34.4	▲ 3.9	89	5	6	▲ 1	33.0	38.6	▲ 5.6	85
下	6.3	6.4	▲ 0.1	13.1	11.4	1.7	0.9	1.8	▲ 0.9	50.5	39.0	11.5	129	3	6	▲ 3	56.5	35.4	21.1	160
平均・合計	7.9	8.8	▲ 0.8	13.4	14.3	▲ 0.9	3.2	3.9	▲ 0.6	98.0	111.5	▲ 13.5	88	13	18	▲ 5	124.3	119.7	4.6	104

注 1) 比布アメダス観測値。  
 2) 平年は比布アメダス前10カ年の平均値。  
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

表3 農耕期間積算値 (5月～9月)

期間	項目	平均気温	降水量	降水日数	日照時間
		(°C)	(mm)	(日)	(hr)
5月上旬 ～	本年	2,604	496	74	875
	平年	2,679	601	62	855
9月下旬	比較	▲ 75	▲ 105	12	20

注 1) 比布アメダス観測値。  
 2) 平年は過去10カ年の平均値。  
 3) ▲印は平年に比べて減を示す。

## 2. 作 況

### 1) 水 稲 良

事由：播種は平年並の4月14日に行った。育苗期間中の天候は4月中旬、気温は平年より高かったが日照時間は平年より少なく経過し、出芽はやや遅れ揃いも劣った。4月下旬は日照時間が平年並であったが、気温は平年より低く経過し、苗の生育は遅延した。5月上旬の平均気温は平年並で日照時間が多く、中旬は高温・多照に経過し苗の生育は回復傾向となった。移植は平年より1日早い5月18日に行った。移植時の草丈は平年より2.0～2.3cm低く、第1葉鞘高はほぼ平年並であった。主稈葉数は平年並で、茎数も平年並であった。地上部乾物重は平年より0.06～0.28g軽かったが、苗の充実度を示す地上部乾物重/草丈はほぼ平年並であった。

移植後、5月下旬の高温により活着は良好で生育も順調であったが、6月上旬の低温・日照不足と6月中旬の低温により生育は停滞し葉先枯れもみられた。6月20日の主稈葉数は平年並であるが、草丈は平年より3.8～4.5cm低く、 $m^2$ 当たり茎数は平年より24～32%少なかった。6月下旬は低温・日照不足となり生育は遅れ、幼穂形成期は平年より2～3日遅れたが、7月上～中旬の高温により生育は回復し、止葉期は平年より1～2日早かった。7月20日の草丈は平年並からやや高く、葉数と $m^2$ あたり茎数は平年並からやや多いが、分けつの生育が遅れた。

出穂期は平年より1～3日遅れ、穂揃い日数は3日長かった。7月下旬は平均気温が平年並で日照時間は平年より多く登熟は平年並に進んだものの、8月上～下旬には平均低温がやや低く、8月中、下旬は日照時間も少なかったため、登熟がやや緩慢となった。稈長、穂長は平年より長く、 $m^2$ 当たり穂数は平年より47～66本多かった。9月上旬は平均気温が低かったものの日照時間が多く、登熟はほぼ平年並に進んだ。

成熟期は平年より「ななつぼし」が1日、「ゆめぴりか」が3日それぞれ遅かった。登熟日数はほぼ平年並であった。稈実歩合は平年より0.9～1.1%高く、一穂粒数は4～5%、 $m^2$ 当たり稈実粒数は13～16%それぞれ平年より多かった。

籾摺歩合は平年より0.7～2.6%高く、玄米千粒重も平年より0.2～0.6g重かった。登熟歩合はほぼ平年並で、 $m^2$ 当たり稈実粒数が平年より多かったことから、精玄米重は「ななつぼし」が759kg/10a、「ゆめぴりか」が725kg/10aで各々平年比112、111%で平年より多収であった。玄米品質は腹白等の発生が見られたものの、検査等級は平年並みであった。

これらのことから、本年の作況は「良」である。

表4 水稻の生育

項目	品種名 ／年次	ななつぼし			ゆめぴりか			
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	
生育期節	播種期 (月日)	4.14	4.14	0	4.14	4.14	0	
	移植期 (月日)	5.18	5.19	△ 1	5.18	5.19	△ 1	
	幼穂形成期 (月日)	6.25	6.23	2	6.27	6.24	3	
	止葉期 (月日)	7.08	7.10	△ 2	7.09	7.10	△ 1	
	出穂期 (月日)	7.22	7.21	1	7.23	7.20	3	
	成熟期 (月日)	9.11	9.10	1	9.11	9.08	3	
	穂揃日数 (日)	11	8	3	11	8	3	
	登熟日数 (日)	51	50	1	50	50	0	
	生育日数 (日)	150	148	2	150	147	3	
移植時	草丈 (cm)	11.2	13.2	▲ 2.0	10.9	13.2	▲ 2.3	
	葉数 (枚)	4.0	4.0	0.0	4.1	4.1	0.0	
	茎数 (本)	1.8	1.7	0.1	1.8	2.0	▲ 0.2	
	第1葉鞘高(cm)	2.3	2.5	▲ 0.2	2.3	2.5	▲ 0.2	
	地上部乾物重(g/100本)	4.17	4.23	▲ 0.06	4.04	4.32	▲ 0.28	
	地上部乾物重/草丈	0.37	0.32	0.05	0.37	0.33	0.04	
本田生育	葉数 (枚)	6月20日	8.1	8.1	0.0	8.4	8.4	0.0
		7月20日	10.3	10.2	0.1	10.9	10.5	0.4
		止葉葉数	10.3	10.2	0.1	10.9	10.5	0.4
	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	6月20日	445	583	▲ 138	450	662	▲ 212
		7月20日	773	749	24	856	856	0
	草丈 (cm)	6月20日	34.8	38.6	▲ 3.8	32.9	37.4	▲ 4.5
7月20日		82.6	79.9	2.7	83.6	79.3	4.3	
成熟期	稈長 (cm)	72.6	68.1	4.5	68.7	65.5	3.2	
	穂長 (cm)	17.6	16.5	1.1	17.2	16.7	0.5	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	754	688	66	837	790	47	
収量構成要素	一穂粒数 (粒)	52.8	50.5	2.3	45.7	43.4	2.3	
	m <sup>2</sup> 当たり粒数 (×千)	39.8	34.8	5.0	38.3	34.2	4.1	
	稔実歩合 (%)	96.3	95.4	0.9	94.9	93.8	1.1	
	m <sup>2</sup> 当たり稔実粒数 (×千)	38.3	33.1	5.2	36.3	32.0	4.3	
	同上比 (%)	116	100	16	113	100	13	
	登熟歩合 (%)	86.0	87.5	▲ 1.5	85.0	84.5	0.5	
	粒摺歩合 (%)	81.7	81.0	0.7	81.6	79.0	2.6	
	屑米歩合 (%)	2.7	2.4	0.3	1.9	3.4	▲ 1.5	
精玄米千粒重 (g)	22.6	22.4	0.2	23.5	22.9	0.6		
収量	藁重 (kg/10a)	699	635	64	696	607	89	
	精粒重 (kg/10a)	932	839	93	892	824	68	
	精玄米重 (kg/10a)	759	679	80	725	651	74	
	収量平年比 (%)	112	100	12	111	100	11	
	検査等級 (等)	1	1下	-	1	1下	-	

注 1) 平年値は前7カ年の中、平成23年(最凶年)、平成26年(最豊年)を除く5カ年の平均値。

2) △は平年に比べ「早」、▲は平年に比べ「減」を示す。

3) 苗代耕種概要 育苗様式：成苗ポット苗

施肥量：成分量でm<sup>2</sup>あたり、床土 N 3.0g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 7.2g, K<sub>2</sub>O 3.0g

置床 N 27.0g, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 34.0g, K<sub>2</sub>O 18.0g

4) 本田耕種概要 栽植密度：25.3株/m<sup>2</sup> (33.0cm×12.0cm)、3本植

施肥量：成分量で10aあたり、N 8.0kg, P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> 9.7kg, K<sub>2</sub>O 6.9kg, 堆肥1,000kg

5) 精玄米千粒重・精玄米重：網目1.90mm以上、水分15%換算

2) 秋まき小麦 不良

事由：根雪始は10月31日で平年より24日早く、例年行う雪腐病防除を実施することができなかった。根雪終は4月8日で平年より3日早かった。積雪期間は平年より21日長い160日となったため、雪腐病発病度が高く、越冬茎歩合も低く、茎数は平年よりかなり少なかった。出穂期は平年より2日遅い6月7日、成熟期は平年より1日早い7月18日で登熟期間は平年より3日短かった。稈長はやや短く、穂長は平年並。穂数が平年よりかなり少なく、子実重は平年比67%とかなり低収であった。リットル重は平年並で、千粒重は平年を上回った。検査等級は1等であった。

したがって、本年の作況は「不良」である。

表5 秋まき小麦の生育および収量

品 種 名		きたほなみ		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期 (月.日)		9.15	9.15	0
出芽期 (月.日)		9.24	9.24	0
出穂期 (月.日)		6.07	6.05	2
成熟期 (月.日)		7.18	7.19	△ 1
越冬茎歩合 (%)		31.4	129.1	▲ 97.7
雪腐病発病度		61.3	10.0	51.3
葉数(枚)	平28年10月20日	4.5	4.4	0.1
草丈 (cm)	平28年10月20日	19.4	18.8	0.6
	平29年 5月20日	33.7	38.3	▲ 4.6
	平29年 6月20日	81.5	86.2	▲ 4.7
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	平28年10月20日	795	872	▲ 77
	平29年 5月20日	357	1474	▲ 1117
	平29年 6月20日	300	712	▲ 412
成熟期	稈長 (cm)	71	77	▲ 6
	穂長 (cm)	8.8	8.6	0.2
	穂数(本/m <sup>2</sup> )	269	658	▲ 389
子実重 (kg/10a)		457	681	▲ 224
同上平年比 (%)		67	100	▲ 33
リットル重 (g)		805	811	▲ 6
千粒重 (g)		44.3	39.5	4.8
検査等級 (等)		1	2上	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22年、27年(収穫年度)を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

3) 春まき小麦 平年並

事由：融雪は平年より3日早く、播種は平年より3日早い4月17日に行った。出芽期も平年より3日早く、草丈および茎数ともに平年を上回って推移したが、6月20日の茎数は平年をやや下回った。6月上旬の低温の影響を受け、出穂期は平年より2日、成熟期は平年より1日遅かった。稈長は平年より長く、穂長は平年並であり、千粒重は平年よりやや軽かったが、穂数が多かったことにより子実重は平年比102%であった。リットル重は平年並であり、検査等級は平年をやや下回る2中であった。

したがって、本年の作況は「平年並」である。

表6 春まき小麦の生育および収量

品 種 名		春よ恋		
項 目 \ 年次		本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	4.17	4.20	△ 3
出芽期	(月.日)	5.01	5.04	△ 3
出穂期	(月.日)	6.20	6.18	2
成熟期	(月.日)	7.31	7.30	1
草丈 (cm)	5月20日	22.8	18.8	4.0
	6月20日	84.9	78.5	6.4
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	5月20日	685	604	81
	6月20日	707	752	▲ 45
成 熟 期	稈長 (cm)	102	92	10
	穂長 (cm)	8.4	8.7	▲ 0.3
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	578	506	72
子実重	(kg/10a)	528	520	8
同上	平年比 (%)	102	100	2
リットル重	(g)	794	799	▲ 5
千粒重	(g)	37.7	41.0	▲ 3.3
検査等級	(等)	2中	2上	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成22、24年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より“早”、▲は平年より“減”を示す。

3) リットル重は1リットル升による測定。

4) 大 豆 やや良

事由：播種は、平年より3日早い5月18日に行った。播種後の5月下旬は降水量が多く、やや高温で推移し、出芽期は平年より3日早かった。出芽後の6月上中旬の気温が低温で推移したが、7月上中旬は高温で推移し、開花期は平年並であった。7月下旬の降雨により倒伏が発生した。成熟期は、平年より1日遅い9月24日であった。成熟期の主茎長は平年より7.9cm短く、主茎節数は平年を下回ったが、分枝数、着莢数は平年並であった。百粒重は平年より1.5g軽い34.5gであった。子実重は450kg/10aと平年比105%でやや上回った。屑粒率は平年より低く、検査等級は平年を上回る1等となった。

したがって、本年の作況は「やや良」である。

表7 大豆の生育および収量

品 種 名		ユキホマレ		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
播種期	(月.日)	5.18	5.21	△ 3
出芽期	(月.日)	6.01	6.04	△ 3
開花期	(月.日)	7.13	7.13	0
成熟期	(月.日)	9.24	9.23	1
主茎長 (cm)	6月20日	11.3	11.8	▲ 0.5
	7月20日	54.6	61.6	▲ 7.0
	8月20日	60.5	68.5	▲ 8.0
	9月20日	62.0	69.2	▲ 7.2
	成熟期	62.0	69.9	▲ 7.9
主茎 節数 (節)	6月20日	3.5	4.1	▲ 0.6
	7月20日	9.4	10.3	▲ 0.9
	8月20日	9.9	10.5	▲ 0.6
	9月20日	9.6	10.7	▲ 1.1
	成熟期	9.6	10.7	▲ 1.1
分枝数 (本/株)	7月20日	6.4	7.2	▲ 0.8
	8月20日	6.9	7.5	▲ 0.6
	9月20日	6.5	6.4	0.1
	成熟期	6.5	6.2	0.3
着莢数 (個/株)	8月20日	91	94	▲ 3
	9月20日	75	78	▲ 3
	成熟期	75	78	▲ 3
子実重	(kg/10a)	450	428	22
同上	平年比 (%)	105	100	5
百粒重	(g)	34.5	36.0	▲ 1.5
屑粒率	(%)	1.9	3.6	▲ 1.7
検査等級	(等)	1	2下	-

注1) 平年値は、前7か年中、平成22年、26年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。

5) 小 豆 良

事由：播種は平年より2日遅い5月25日に行った。出芽期は平年より2日遅かったが、その後は適度な降雨があったため出芽揃は良好であった。開花期は平年より1日遅い程度だったが、7月下旬以降は気温が平年並から低く推移し、成熟期は平年より12日遅かった。生育は6月下旬の低温で緩慢となったが、成熟期の主茎長および着莢数は平年を上回った。莢数が多く、登熟期間が長かったことから百粒重が平年よりかなり重かったため、子実重は平年比151%とかなり多収であった。屑粒率は平年よりやや高かったが、検査等級は平年をやや上回る3上であった。

したがって、本年の作況は「良」である。

表8 小豆の生育および収量

品 種 名		エリモシヨウズ		
項 目 / 年 次		本年	平年	比較
播種期 (月.日)		5.25	5.23	2
出芽期 (月.日)		6.11	6.09	2
開花期 (月.日)		7.24	7.23	1
成熟期 (月.日)		9.18	9.6	12
主茎長 (cm)	6月20日	3.6	4.5	▲ 0.9
	7月20日	26.4	33.7	▲ 7.3
	8月20日	66.6	65.7	0.9
	成熟期	78.0	68.0	10.0
本葉数 (枚)	6月20日	0.8	1.4	▲ 0.6
	7月20日	8.5	9.4	▲ 0.9
	8月20日	13.4	13.1	0.3
主茎節数 (節)	成熟期	14.9	15.1	▲ 0.2
分枝数 (本/株)	7月20日	5.4	5.8	▲ 0.4
	8月20日	6.6	5.9	0.7
	成熟期	5.8	5.7	0.1
着莢数 (個/株)	8月20日	74	52	22
	成熟期	68	58	10
子実重 (kg/10a)		499	330	169
同上平年比 (%)		151	100	51
百粒重 (g)		14.9	12.7	2.2
屑粒率 (%)		5.2	3.7	1.5
検査等級 (等)		3上	3中	-

注 1) 平年値は、前7か年中、平成22、27年を除く5か年の平均値。

2) ▲は平年より減を示す。



6) ばれいしょ 平年並

事由：植付は平年より2日遅い5月10日に行った。植付後は気温が高く推移し、適度な降雨もあったことから萌芽期は平年より1日早かった。茎長は、平年をやや下回って推移した後に持ち直したが、やや徒長したため7月10日の降雨により中程度の倒伏が発生した。また、7月上旬の高温により軟腐病が発生し、その後の防除により拡大は防げたが、枯ちょう期は平年より5日早くなった。7月上中旬の高温および8月上旬の乾燥により塊茎肥大が抑制され、平年より上いもの平均重がやや軽かったが、上いもの数が多かったことから上いもの収量は平年をやや上回った。しかし、S規格の塊茎がやや多かったことから、中以上いもの収量および規格内いもの収量はそれぞれ100%、104%に留まった。でん粉価は、平年を下回って推移したが、7月下旬から8月上旬に十分な日照時間が確保されたことから平年並となった。したがって、本年の作況は「平年並」である。

表9 ばれいしょの生育および収量

品 種 名		男爵薯		
項 目	年次	本 年	平 年	比 較
植付期 (月.日)		5.10	5.08	2
萌芽期 (月.日)		5.28	5.29	△ 1
開花始 (月.日)		6.25	6.23	2
枯凋期 (月.日)		8.25	8.30	△ 5
茎長 (cm)	6月20日	29.0	35.1	▲ 6.1
	7月20日	49.1	51.0	▲ 1.9
上いもの数 (個/株)	7月20日	10.3	9.5	0.8
	8月20日	11.6	10.8	0.8
上いもの平均重 (g)	7月20日	68	78	▲ 10
	8月20日	96	103	▲ 7
上いもの収量 (kg/10a)	7月20日	3094	3221	▲ 127
	8月20日	4960	4895	65
でん粉価 (%)	7月20日	12.9	14.5	▲ 1.6
	8月20日	15.3	15.2	0.1
収 穫 期	上いもの数 (個/株)	11.9	10.2	1.7
	上いもの平均重 (g)	98	104	▲ 6
	上いもの収量 (kg/10a)	5160	4694	466
	同上平年比 (%)	110	100	10
	中以上いもの収量 (kg/10a)	4315	4325	▲ 10
	同上平年比 (%)	100	100	0
	規格内いもの収量 (kg/10a)	4282	4131	151
	同上平年比 (%)	104	100	4
でん粉価 (%)	14.8	14.9	▲ 0.1	

注1) 平年値は、前7か年中、平成22、23年を除く5か年の平均値。

2) △は平年より早を、▲は平年より減を示す。